

特定本邦航空運送事業者(※)に関する航空輸送サービスに係る情報公開(平成22年10~12月)のポイント

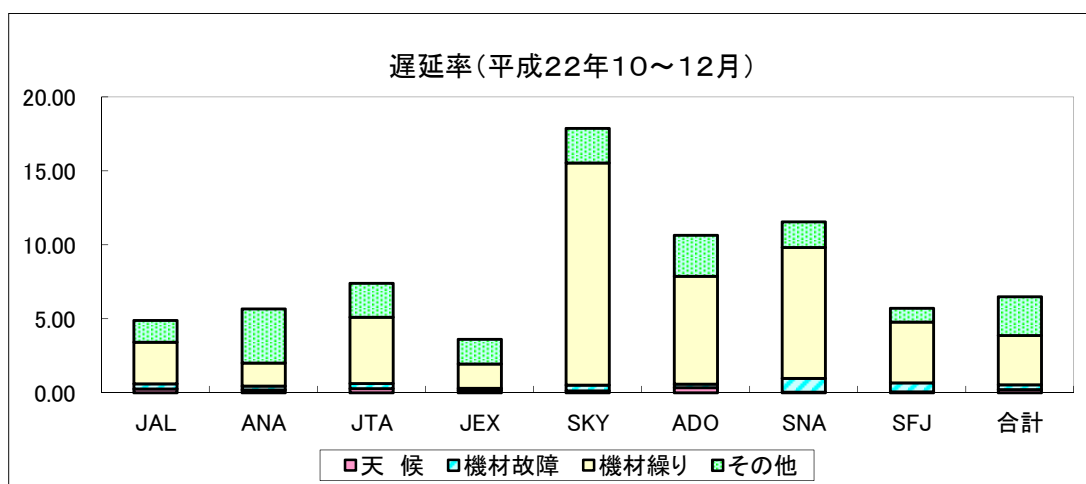
※日本航空:JAL(日本航空インターナショナル及びジェイエアを含む)、全日本空輸:ANA(エア・ニッポン、エア・ネクスト、エア・ニッポンネットワーク及びエア・セントラルを含む(ただし、エア・ネクスト、エア・ニッポンネットワーク及びエア・セントラルは、H22年10月1日に合併し、ANAウイングスになった為、H22年10月以降は、エア・ニッポン及びANAウイングスを含む))、日本トランスオーシャン航空:JTA、ジャルエクスプレス:JEX、スカイマーク:SKY、北海道国際航空:ADO、スカイネットアジア航空:SNA及びスターフライヤー:SFJ

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

(1) 遅延率(平成22年10月~12月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
6.51%	5.78%	0.73ポイント悪化

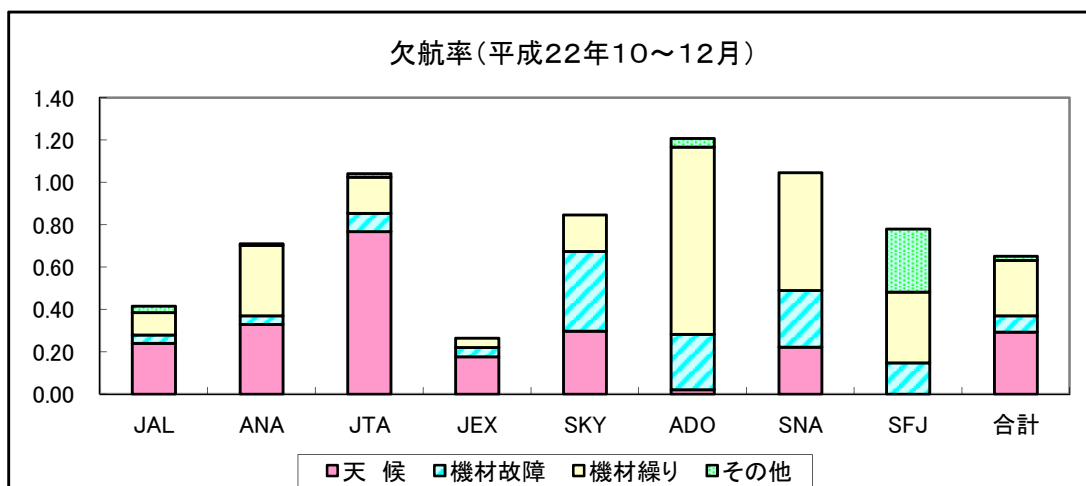
備考)「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

(2) 欠航率(平成22年10月~12月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
0.65%	1.11%	0.46ポイント改善



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績(平成22年10月～12月)

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	908km	906km	0.2%増
輸送人員	2016万6564人	2029万1180人	0.6%減
輸送人キロ	183億1527万人キロ	183億8133万人キロ	0.4%減
旅客収入	3159億23百万円	3098億56百万円	2.0%増
輸送人員あたり 旅客収入	15.7千円	15.3千円	2.6%増
輸送人キロあたり 旅客収入	17.2円	16.9円	1.8%増

(2) 路線別データ(平成22年10月～12月)

① 旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位 東京＝札幌	217万2213人
2位 東京＝福岡	196万6582人
3位 東京＝大阪	140万2144人
4位 東京＝那覇	130万1654人
5位 東京＝鹿児島	53万9965人
全路線	2000万2055人

② 利用率

上位5路線は次のとおり。

下位5路線は次のとおり。

1位 那覇＝松山	82.8%	1位 那覇＝北九州	18.7%
2位 羽田＝神戸	79.3%	2位 札幌＝旭川	19.0%
3位 福岡＝仙台	77.9%	3位 東京＝大島	22.7%
4位 関西＝函館	77.5%	4位 中部＝徳島	25.4%
5位 大阪＝松山	73.7%	5位 札幌＝釧路	26.6%
全路線	64.6%	全路線	64.6%

3. フレックストラベラー制度(※)に関する情報

平成22年10～12月フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合(1万人あたり)が高かった上位3社は次のとおり。

(※)オーバーセールス(搭乗手続きにきた予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること)の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 (1万人あたり)	
		当期実績	前期実績
①	全日本空輸	1.32人	1.05人
②	北海道国際航空	1.20人	1.20人
③	スカイネットアジア航空	1.04人	0.61人
	全社平均	0.87人	0.69人